

自分の人生をデザインする力を育む キャリアプロデュース CAREER PRODUCE

美工では、生徒が「美の精神をもって広く社会に貢献できる」ようになるために、キャリア教育に力を入れています。美工生が好きな「美術」を社会でどのように生かしていくのか、そのためには何を学び、どのような道に進めば良いのか。3年間の中で、生徒自身が考え、自分でキャリアをデザインすることのできる力を育むための仕組み、それが「CAREER PRODUCE」です。



自分自身を知り、目標を見つける

キャリアについて知る

各学年の年度当初に、「キャリア」の言葉の定義を確認するために、スタートアップ研修とキャリアガイダンスを行います。また、目標とする姿をイメージするため、卒業生や様々な分野の専門家を招き進路講演会を行っています。



ポートフォリオ制作

ポートフォリオ制作を通して3年間のキャリア形成の流れを見える化し、PDCAサイクルの確認を行い、蓄積しています。美工生の強みを生かして、描いたり、撮影したり、作ったりしたものを記録します。

世界や社会のつながりの中で、自分を育てる

海外での学習・交流

代表生徒を選出し海外へ派遣する美術研修を実施しています。そのひとつとして京都パレスライオンズクラブ様から研修費用の援助をいただき、ヨーロッパに派遣。また、ボストンの芸術高校との交流も行っています。



地域や社会との連携

美術専門高校の特性や京都の強みを活かし、地域や学校外の方々と連携による取り組みを年間50プログラム以上行っています。あらゆる課題について自分ごととして学ぶ場となるように、生徒も企画運営に参加します。

変わりゆく技術を学ぶ

インターネットを通して刻々と変化する世界中の情報を活用するには、情報があくまでも参考の1つに過ぎないことを十分に認識し、最後は自分で判断する能力が必要です。本校では新たな情報技術である生成AIを活用し、学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に力を入れています。懸念やリスクに対策を講じながら、適切な活用に向けたリテラシーの向上、どのように学びに活かしていくかという視点、近い将来使いこなすための力を意識的に育てていきます。

